

日刊工業新聞社主催「スマートファクトリーJapan2019」に出展

【概要】

主催：日刊工業新聞社

会期：2019年6月5日（水）～7日（金）

会場：東京ビッグサイト 青海展示棟

スマートファクトリー-Japan 2019

スマートファクトリーを実現するうえで欠かすことができない、情報管理・処理システムをはじめ、製造設備・装置、その他、生産工場に関する技術・製品を展示し、最新のIoT技術やインダストリー4.0実現に向けた各種製品・サービスを体験できる場として「スマートファクトリーJapan2019」が開催されました。来場者数43,169名と大盛況で幕を閉じました。

アグレックスは、TISインテックグループのクオリカ株式会社のブースにて、株式会社インテック、AJS株式会社とともにAI・IoTソリューションを協同出展しました。

展示ブース 生産現場向けIoTソリューション

働き手が減少する昨今、現場作業の効率化、省力化、適正化においてIoTソリューションを用いたデジタル化が急速に進みつつあります。

展示ブースでは上記課題を直接解決するソリューションとしてクオリカ・インテック・AJSなどは現場にて発生する異常値のデータ化、機器異常検知、導線可視化、ウェアラブルヘルメット、半導体目検システムなど、現場のIoT化の推進を図るソリューションをそれぞれご紹介しました。

アグレックスは、「現場データの活用」と題して、生産現場のバックオフィスを支援する「AI-OCR × BPO」ソリューションをご紹介しました。



ー AI-OCR×BPO (アグレックス)

人工知能（以下 AI）で手書き文字を瞬時にテキスト化する「AI-OCR」と、アグレックスが50年以上にわたるBPO事業で蓄積してきたノウハウを活用した「データ処理・補正技術」を組み合わせ、機械技術だけではたどり着けない精度のデータエントリーサービスを提供します。

【詳細】 <https://www.agrex.co.jp/news/pdf/265>

ー iBowQube (クオリカ)

アタッチメントとしてお持ちのヘルメットに装着し、電子機器（カメラ・マイク 等）をハンズフリー（音声発話）で操作し、「コミュニケーション機能」「安全管理機能」「ナビゲーション機能」を利用できるヘルメットマウント型ウェアラブルデバイスです。

「iBowQube」の利用により、技術伝承、生産性の維持向上、働きやすい職場環境の提供、労働力不足対応、顧客サービス向上等に効果を発揮します。主に製造業、建築業、社会インフラ（電気、ガス、水道）の保全業、航空・宇宙、鉄道、道路、通信などに携わる方の課題を解決します。

【詳細】 <https://www.qualica.co.jp/service/manufact/wearable/iBowQube/index.html>

ー Care Qube+ (クオリカ)

製造現場の設備・機器の稼働データを活用し、業務や経営の課題解決に活かす遠隔監視・予防保全ソリューションです。機械や産業車両に設置可能な情報収集端末を使用し、集めたデータの見える化を実現します。販売後の機械や車の故障をいち早く察知し、アラートをだすなど稼働状態の遠隔監視をすることで、サービスの向上を可能にします。

【詳細】 <https://www.qualica.co.jp/service/manufact/ams/careqube/index.html>

ー Bellonica (クオリカ)

様々な現場データを一元収集し業務毎のアプリケーションと連携を行うことで、現場毎で管理されていたデータを繋げ、技術革新、生産性向上、技術伝承などの課題解決に向けたデータ経営を実現するIoTプラットフォームです。

【詳細】 <https://www.qualica.co.jp/service/it/bellonica/index.html>

ー シグカム (インテック)

カメラでシグナルタワーを撮像し、設備の稼働情報を収集します。設備アラーム時には担当オペレータにメール通知を行います。設備の稼働状態はいつでも Web 画面で確認できます。

以下のような課題を解決します。

- 設備異常情報を見落とすことがある
- 設備の監視作業コストを減らしたい
- 工場内以外でも稼働状況を把握したい
- 古い設備をそのまま利用して稼働監視したい

【詳細】 <https://www.intec.co.jp/service/detail/sigcame/>

一 動線可視化サービス（インテック）

「スマホ」と「ビーコン」を使用して、クルマや人の位置情報を取得します。その位置情報を活用することで以下を実現し、お客さまの業務改善をご支援します。

- フォークリフトや人の動線を可視化
- 作業員の移動範囲、移動距離を把握
- 作業エリアを考慮し、最適な稼働計画を策定
- 危険運転の発生箇所や時間帯を可視化

【詳細】 <https://www.intec.co.jp/service/detail/dousen/>

一 異常検知ソリューション（インテック）

センサーデータの複雑な関係を機械学習し、誤検知を削減します。主な特長は以下の通りです。

- 製造ライン（各製造装置）のセンサーデータの複雑な関係を AI 技術により機械学習し、作成された判別モデルデータを用いて判定することで異常の誤検知を大幅に減少
- 多数のセンサーデータから異常に関係するデータを事前に絞り込む機能を保有しており、正常・異常の判定時間を短縮（本手法を含む異常検知技術について、特許出願済）

【詳細】 https://www.intec.co.jp/news/2018/1029_1.html

一 HORUS AI for SemiCon-EX（AJS）

アドダイスの画像検査専用 AI である「HORUS AI」を用いて、半導体製造工程の画像検査データの人工知能の深層学習を行います。

半導体製造工程での専門家の判断を AI に学習させるためのデータ構築を迅速に行うアドダイスの特許技術を活用し、半導体製造工場の画像検査工程の AI 化を実現します。

【詳細】 <https://www.ajs.co.jp/solutionnavigator/solution/horusai.html>

【お問い合わせ】

株式会社アグレックス

ビジネスファンクションサービス事業本部 ビジネスインテグレーション事業部 営業第3部

担当：三ノ輪

TEL：042-371-0198 E-mail：ai-ocr@m.agrex.co.jp